

日本の地方文化を体験

早稲田大学留学生 2 人が 多久市内で日本の体験活動

Tuesday
2/16 ~ Wednesday
3/16



▶中央校小学部での活動風景

早稲田大学で学ぶ留学生が春季休業期間を利用して、東京以外の地方への理解を深めることを目的として、多久市でホームステイ、文化体験活動を行いました。米国出身のAponte Armando Josephさん（21歳・通称A.J）と台湾生まれ米国在住の陳映彤さん（20歳・通称フェンディー）が約1か月を多久市で過ごし、多久の“文化”や“人”に出会いさまざまな体験をしました。多久市観光協会や中央校小学部などで活動を行ったA.Jさんは「多久の風景や歴史、やさしく接して下さるみなさんに大変感動しました」と多久の思い出を話されました。



◀多久市へ訪れたA.Jさん（写真左）とフェンディーさん（写真右）



◀表彰の様子

Saturday
3/12

～平成27年度多久市文化功労者表彰式～ 芸術文化への功績に対し表彰

3月12日、多久市まちづくり交流センターあいぱれっとで多久市文化連盟（会長吉浦啓一郎）文化功労者表彰式が行われ、14人と1団体が表彰されました。これは、多久市文化連盟活動の一環として毎年行われているもので、芸術文化の振興に貢献した人や顕著な功績があった人に授与されています。被表彰者は、以下のとおりです。（敬称略）

芸術文化功労賞

緒方 達幸（音楽協会） 新郷 松次（囲碁将棋連盟）

芸術文化賞

谷口 啓子（音楽協会） 石田 陽子（音楽協会） 増田 知子（音楽協会）
松下 修（文芸協会） 尾形 弘美（華道会） 米倉 武司（囲碁将棋連盟）

芸術文化奨励賞

吉松三津子（美術協会） 光野 正子（文芸協会） 江頭留美子（茶道会）

芸術文化寿賞

浦野 嘉恵（文芸協会） 田中 惇子（音楽協会） 宮川 安子（音楽協会）

芸術文化特別賞

孔子の里芸能保存会 腰鼓部会（代表 南里 豊）



▶記念撮影する被表彰者のみなさん

第62回佐賀県消防大会

とうぶ保育園幼年消防クラブへ 佐賀県知事表彰

Sunday
3/20



▶表彰を受けるとうぶ保育園幼年消防クラブ園児

第62回佐賀県消防大会（佐賀県、公益財団法人佐賀県消防協会主催）が武雄市文化会館で行われ、とうぶ保育園幼年消防クラブが山口祥義知事から優良クラブとして表彰されました。

とうぶ保育園幼年消防クラブの園児は、火災予防運動期間中の通園時に防火法被を着用し、市民への防火思想の普及宣伝に貢献したほか、消防出初式では防火劇を披露するなど、消防防災活動が認められたものです。

幼年消防クラブのみなさんおめでとうございます。



◀式典後にパチリ。劉昭之介くん（左）藤森菜々美ちゃん（右）